

令和6年度歴史講座

『清川村に残された7体のニホンオオカミと 武蔵御嶽信仰』

～～～講義内容～～～

清川村煤ヶ谷には、詳細は不明ですが幕末から明治期に捕獲されたであろうニホンオオカミの5個の頭骨と1個の下顎、1個の前肢の7個の遺物が残されていました。煤ヶ谷地区のニホンオオカミの紹介と頭骨等に関わる民間伝承、武蔵御嶽信仰について考察します。



日 時：令和7年3月30日(日)

午後2時～3時30分予定（午後1時30分開場）

場 所：せせらぎ館3階 研修室

※参加者多数の場合は、会場をみどりホールに変更いたします。

講 師：清川村文化財保護委員長 飯塚利行 氏

参 加 費：無料

対 象：村内在住・在勤の方、この講座に興味のある方

申 込：3月24日(月)までに生涯学習課へ連絡



国立科学博物館特別展『古代DNA_日本人が来た道』2025.3.15～6.15

5体の頭骨展示予定

○ 講座中に撮影した写真は、広報紙やホームページなどに掲載する場合がありますのでご承知おきください。

申込み・問合せ先：教育委員会事務局生涯学習課 TEL 046-288-3733(直通)